



かけはし

心をコントロールして思い出に残る夏休みに

校長 嶋崎 恭代

この1学期、感染症予防の制限はあったものの、行事や体験活動を少しずつ再開してまいりました。異学年が関わる活動、体を存分に動かす活動、練習した力を試す行事等を通して、子供たちの興味や意欲、能力が一層高まることを改めて感じました。今後も大切に行ってまいります。

さて、子供たちは自分の目標や課題に向けて一生懸命取り組み、それぞれに成長した姿を見せてくれました。元気に学習活動に取り組み、無事に1学期を終えることができます。これも、保護者の皆様の深いご理解とご協力のおかげです。ありがとうございます。4月の授業参観や6月の学校公開では、分散型でご不自由をおかけしましたが、子供たちの学校生活の様子を少しでも見ていただけたことは何よりでした。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、明後日から42日間の夏休みが始まります。コロナ禍のため行動が規制されるとは言え、子供たちはわくわくした気持ちで待っていることでしょう。長い休みは自分を成長させるチャンスでもあります。思い出に残る夏休みにするためにも、子供たちには3つのことを大切にしてほしいと思います。

①目標を決める ②チャレンジし続ける ③心をコントロールする

つまり、この夏休みには「これがんばる」ということを決め、決めたからには何が何でも最後までがんばりチャレンジし続ける、そしてそのがんばりができるように自分をコントロールすることが大事です。さらに『挨拶』や『お手伝い』などのよいことは進んでいき、きまりを破るようなことはしないという行動面のコントロールも大事なことです。ご家庭でもお子様への声かけをぜひお願ひいたします。

このあとも猛烈な暑さが続くことが予想されます。この42日間を健康に、そして安全に過ごすために、早寝早起き、規則正しい生活を送ることができるようにご家庭でも留意願ひします。また、防犯、安全に関しても、ご家庭で繰り返し話をしていただくとともに、地域や保護者の皆様の目で見守っていただき、時にはご指導いただきますようによろしくお願ひいたします。

9月1日の2学期始業式には、子供たち全員の笑顔に再会できることを楽しみにしております。

◆◆◆夏休みの生活で気をつけたいこと◆◆◆

依存物に注意

夏休み中のゲーム・SNSの弊害として、「目の疲れ」「頭痛」「肩こり」「不眠」などが挙げられますが、怖いのは「依存症」です。就寝時刻の遅延は最も危険な兆候の一つ。その他には成績の低下、不登校へもつながることは珍しくありません。では、どうしてここまでのめり込むのでしょうか？ 依存物は、

- 無制限とも思われるくらい多種多様で、人の求めにマッチしやすい。
- 強烈な快楽と適度の不快の同時進行で脳を飽かさせず、続けられるようにできている。

このほか、手軽・身近・安価なども理由の一つです。

では、依存から回復するための手立ては！ わたくしごとで恐縮ですが、「依存」についてはこれまでのいろいろなケースに出会ってきましたが、一朝一夕で解消できる容易な物ではないというのが実感です。依存の程度にもよりますが、長い時間を掛け、子供に寄り添いながら良い方向へと導いていくことが大事だと考えます。特に幼いころから長きにわたってのめり込んでしまった場合は時間がかかります。こういう時は腰を据えて、子供と二人三脚で少しずつ進んでいくほかありません。途中、歩調が合わず転んでしまうこともあるでしょう。そんなときこそ「今後の子供の未来」をイメージし乗り越えていくほかありません。粘り強くしっかり前を向き前進するのみです。もしかしたらゲーム・SNS以上の魅力がその二人三脚にあることを発見できるかもしれません。ゲーム・SNSが悪いわけではありません。うまく付き合っていくことが大事だと考えます。



◆◆◆お知らせ◆◆◆

夏休み作品展

昨年度まで感染症拡大を防止するため行っていなかった「夏休み作品展」を今年度は行います。感染状況によっては、また中止になるかもしれませんがご承知おきください。

8月29日(月)30日(火)の二日間で、いずれも9時～17時30分までです。場所は、ランチルームを予定しています。職員玄関からお入りになり、そのままランチルームへ行ってください。ランチルーム以外の場所には立ち入りできません。